

令和4年度 矢向地区センター 事業計画書

1 NPO 法人 鶴見区民地域活動協会の事業方針

鶴見区民地域活動協会は、鶴見区自治連合会が設立したNPO 法人として、地域密着型の組織運営と地域のネットワーク力を活かした事業展開・交流促進を通じて「みんなとつながるまちづくり」を進めます。

令和4年度は、第4期指定管理期間（令和4年4月1日～令和9年3月31日）のスタートの年になります。引き続き運営することとなった7施設を含む、指定管理8施設及び管理委託4施設では、これまで行政や地域団体等と協働して取り組んできた実績をもとに、地域活動・交流の拠点としての役割をさらに積極的に果たします。

一昨年来、新型コロナウイルスの感染拡大によって、市民利用施設は、休館や利用制限、自主事業の中止など大きな影響を受けてきました。そうした中でも、協会各施設は「新しい生活様式」に対応したサービスの提供や改善を進めており、引き続き、ウィズコロナのもと、安全・安心で利用しやすい施設管理運営に連携して取り組みます。

(1) 地域に信頼される市民利用施設の管理運営

- ・地域の特性やニーズの把握に努め、安全で快適な施設管理運営と質の高いサービス提供を行います。
- ・地域からの職員採用や運営協議会委員の選任により、地域密着型の施設運営を行います。
- ・利用者や地域の声を多様な手段で聴取し、施設運営やサービス向上につなげます。

(2) 地域交流、まちづくりへの支援

- ・地区センターが位置するエリアの連合自治会長を担当理事として配置し、5つの地区センターを核として近隣のコミュニティハウス、こどもログハウスと連携した事業を展開します。
- ・自治会町内会や地域活動団体等と協力・連携して、幅広い層を対象に魅力ある自主事業を展開します。また、協会施設合同の事業を実施します。
- ・新刊書、絵本の積極的購入により魅力ある図書貸出し事業を推進し「地域の貸本屋」を目指します。

(3) 時代の変化への対応

- ・インターネット予約の利用促進やTwitter等を活用した情報発信、Wi-Fi環境の整備など一層の利用者利便向上に取り組みます。
- ・少子高齢化への対応や利用者ニーズの多様化、多文化共生の推進などに対応するため地域団体及び近隣の施設等と連携して、誰もが利用・参加しやすい事業運営を進めます。

(4) 行政との協働事業の展開

- ・施設の維持管理、災害時対応、地域福祉（あいねっと）の推進など、市や区の重要施策に連携して取り組みます。また、鶴見三大祭りを始めとした地域行事等にも積極的に参加・協力します。

(5) 新型コロナウイルスへの対応

- ・市の対応方針に基づいて、三つの密の回避や入場整理など、基本的感染対策を実施します。
- ・ホームページや施設での貼り出し等により、利用者に混乱のないよう広報を行います

(6) 計画推進のための組織運営

- ・指定管理選定で提案した収支計画に基づいて、利用料金収入や事業収入等の増加を図ります。また、協会のスケールメリットを活かして人件費や管理事務を一本化し、経費の削減と執行の効率化を進めます。
- ・職員配置は必要最小限とし、各職員が意欲・能力を最大限に発揮できるよう人材の育成や職場環境の整備に取り組みます。

2 矢向地区センター施設管理運営の基本方針

- ・地域住民が自主的に活動し相互の交流を深める場として、また、区政運営の基本目標「いつまでも住み続けたいまち・鶴見」の実現に向けて、区の各施策と連携・協力して管理・運営業務を進めます。
- ・矢向地区を中心とした住民の自主的な文化活動やまちづくりの拠点としての役割を積極的に担います。

3 組織体制

（人員体制、個人情報保護及び研修体制、緊急時の体制と対応計画）

- ・人員体制は館長、副館長、主任3名、スタッフ（交代制で14名）の計19名で施設運営を行います。主任以上の職員とスタッフ（午前・午後・夜間各2名）が常時勤務する体制をとります。
- ・「個人情報の保護に関する法律」及び「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守するよう職員研修を実施します。個人情報の収集は必要最小限とし、適切な管理、目的外利用の禁止など指導を徹底していきます。また、職員のスキルアップのために、本協会主催の研修を始め外部研修に積極的に参加します。
- ・緊急時には緊急時連絡網に基づき近隣在住職員がすみやかに集合できる体制を確立しています。

4 施設の運営計画

(運営内容、利用促進策<目標含む>、利用者ニーズの把握とサービス向上)

- ・横浜市の地区センターは、地域住民が自主的に活動し相互の交流を深める場として設置されました。これからも利用者ニーズと地域ニーズを常に把握しながら運営協議会でのご意見を踏まえて、地域コミュニティの醸成、地域の連携に貢献します。
- ・「月曜体操」や「中高生の自習室」を継続的に開催することで少人数でも累計利用者の増加に繋がる企画を実施します。
- ・年に2回開催される「利用者の集い」と「利用者アンケート」の結果は掲示して皆様に報告しています。利用者からお聞きしたご意見はスタッフノートや連絡ノートに記載して全職員が共有できるようにしています。

5 自主事業計画

(実施方針<重点取組等含む>)

- ・地域に密着した地区センターを目指して世代やジャンルによるニーズを吟味しながら地域住民が参加しやすい自主事業を企画・運営します。
- ・「矢向防災フェア」は秋と春の2回開催し地域住民の方の防災意識の向上、地区連合町内会の役員と地区センター職員の防災訓練に努めてまいります。
- ・「こども英語であそぼ」や「科学教室」など好評な事業は継続し、話題のカルチャーを取り入れた教室などを新規に開催していきます。
- ・子育て世代の事業はニーズが高いため、わっくんひろばとの協働事業を年4回以上計画して子育て世代を支援します。
- ・横浜市の芸術アクション事業は「音祭り」が予定されているため、サルビアホールとコーラス等での協働事業を予定しています。
- ・コロナ禍により『徹底した除菌と検温』『参加人数の制限』は続きそうですが、今後も各カテゴリーをカバーした自主事業による交流を持続していきます。

6 建物の維持管理計画

(進め方、大規模工事の予定等)

- ・安全・快適な環境維持及び施設長寿命化の見地から、市役所と連携強化・情報共有を図りながら計画的かつ効果的な保全・更新を進めます。また、小破修繕についても、協会及び施設として引き続き積極的に対応します。

令和4年度 自主事業計画書

募集対象	事業名 (教室名)	開催時期	開催回数	参加人員		自主事業経費			1人あたり参加費		講師謝金		備考 (共催団体・その他)
				募集人数 (人)	延参加 人数(人)	委託料支 出総額 (円)	参加者 負担総額 (円)	総経費 (円)	徴収の 有・無	参加費用 (円)	1回1講師 あたり (円)	1教室講 師謝金額 (円)	
小中高生	小中高生の自習室	通年	300	3	1032	0	0	0	無				
成人	月曜体操	通年	40	10	400	16,000	80,000	96,000	有	200	2,200	88,000	保険料:8000
小中学生	全館合同音楽フェスタ	4~10月	10	10	100	0	0	0	無				横浜市共催事業(予定)
成人	クラフトバック	4~5月	2	10	20	12,000	15,000	27,000	有	1,500	5,500	11,000	材料費:15000 保険料:1000
小学生	母の日 手作りパン	5月9日	1	10	10	6,000	3,500	9,500	有	350	5,500	5,500	材料費:3500 保険料:500
幼児親子	英語であそぼ①	5~7月	6	12組	144	6,500	30,000	36,500	有	2,500	5,500	33,000	材料費:1000 保険料:2500
成人	絵手紙	5~7月	3	10	30	16,500	20,000	36,500	有	2,000	5,500	16,500	材料費:20000
成人	春のスケッチ	5月	1	15	15	10,400	7,500	17,900	有	500	8,900	8,900	材料費:8000 保険料:1000
小学生	父の日 似顔絵コンテスト	6月	1	50	50	9,000	0	9,000	無	0			参加賞:9000
自由	おもちゃ病院 I	6月19日	1	15	15	9,900	0	9,900	無	0	8,900	8,900	雑費:1000
成人	ぶらツルミ①	6月	1	15	15	2,900	7,500	10,400	有	500	8,900	8,900	保険料1500 末吉・潮田共催
小学生	小学生のあそび一ぱ 縁日	7月	1	自由	50	8,500	0	8,500	無	0	0	0	材料費:7000 保険1500
小学生	子ども化学教室	7月	1	12	12	9,400	6,000	15,400	有	500	8,900	8,900	材料費:6000 保険料:500
小学生	子ども料理教室	8月	1	12	12	13,400	6,000	19,400	有	500	8,900	8,900	材料費:10000 保険料:500
小学生	子ども茶道教室	8月	2	8	16	20,600	8,000	28,600	有	1,000	8,900	17,800	材料費:10200 保険料:600
自由	防災フェア(秋)	9月	1	50	50	0	0	0	無				共催:連合町内会
自由	動画発表会	10月	1			0	0	0	無				二一ズ対応費
自由	文化祭(秋まつり)	10月	1	自由	3,100	0	0	0	無				二一ズ対応費
幼児親子	英語であそぼ②	10~12月	6	12組	144	6,500	30,000	36,500	有	2,500	5,500	33,000	材料費:1000 保険料:2500
成人	絵手紙	11~1月	3	10	30	16,500	20,000	36,500	有	2,000	5,500	16,500	材料費:20000
乳児親子	ベビーヨガ	10~11月	3	10組	60	8,000	10,000	18,000	有	1,000	5,500	16,500	保険料:1500
成人	秋のイタリア料理教室	10月	1	12	12	5,900	12,000	17,900	有	1,000	8,900	8,900	材料費:8000 保険料:1000

(様式5)

成人	秋のスケッチ	11月	1	15	15	2,900	15,000	17,900	有	1,000	8,900	8,900	材料費:8000 保険料:1000
成人	クリスマスリース	11月	1	10	10	6,500	20,000	26,500	有	2,000	5,500	5,500	材料費:20000 保険料:1000
小学生	小学生のあそびーば クリスマス	12月5日	1	自由	60	8,600	0	8,600	無		0		厚生保護女性会 材料費:7000 保険料:1600
成人	クリスマス シュトーレン	12月	1	10	10	6,900	15,000	21,900	有	1,500	8,900	8,900	材料費:12000 保険料:1000
成人	お正月かざり	12月	1	10	10	6,900	15,000	21,900	有	1,500	8,900	8,900	材料費:12000 保険料:1000
自由	クリスマスコンサート	12月	1	自由	50	13,900	0	13,900	無		8,900	8,900	材料費:5000
自由	おもちゃ病院Ⅱ	12月18日	1	15	15	9,900	0	9,900	無	0	8,900	8,900	雑費:1000
成人	ぶらツルミ②	1月	1	15	15	2,900	7,500	10,400	有	500	8,900	8,900	保険料1500 末吉・潮田共催
小学生	書初め教室	1月	1	4	4	5,500	4,000	9,500	有	1,000	5,500	5,500	材料費:4000
成人	手作り味噌①	1月	1	8	8	4,500	16,000	20,500	有	2,000	5,500	5,500	材料費:14000 保険料:1000
成人	手作り味噌②	1月	1	8	8	4,500	16,000	20,500	有	2,000	5,500	5,500	材料費:14000 保険料:1000
小学生	小学生のあそびーば お正月	1月	1	自由	60	10,100	0	10,100	無	0	0	0	厚生保護女性会 材料費:8500 保険料:1600
自由	獅子舞	1月	1	自由	60	11,100	0	11,100	無	0	11,100	11,100	笑笑会
小学生	ワックンカルタ大会	2月	1	小学生	48	0	0	0	無	0			ニーズ対応費
成人	手作りキムチ	1月	1	8	8	9,900	8,000	17,900	有	1,000	8,900	8,900	材料費:8000 保険料:1000
成人	バレンタイン	2月	1	8	8	9,900	8,000	17,900	有	1,000	8,900	8,900	材料費:8000 保険料:1000
自由	おもちゃ病院Ⅲ	2月19日	1	15	15	9,900	0	9,900	無		8,900	8,900	雑費:1000
自由	マジックショー	3月	1	自由	70	27,200	0	27,200	無		22,200	22,200	矢向マジッククラブ 雑費:5000
自由	春のコンサート	3月	1	自由	70	32,200	0	32,200	無		22,200	22,200	運搬費:10000
自由	防災フェア(春)	3月	1	50	50	0	0	0	無				共催:連合町内会
幼児親子	英語であそぼ③	1~3月	6	12組	144	6,500	30,000	36,500	有	2,500	5,500	33,000	材料費:1000 保険料:2500
成人	パソコン相談	第2水曜	12	自由	60	11,100	0	11,100	無	0	11,100	11,100	
幼児親子	矢向子育て相談	毎週木曜	49	自由	490	0	0	0	無				こども家庭支援課
未就学児	絵本とわらべうた	第3水曜	11	自由	165	11,100	0	11,100	無	0	11,100	11,100	絵本とともだち
合 計			485		6,770	390,000	410,000	800,000				504,000	

自主事業に要した総経費は、指定管理料(自主事業費)から充当した額と参加者負担額等の合計となります。

令和4年度 「横浜市矢向地区センター」 収支予算書兼決算書
(R4.4.1~R5.3.31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	38,200,000		38,200,000		38,200,000	横浜市より
利用料金収入	3,405,000		3,405,000		3,405,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	410,000		410,000		410,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	487,000	0	487,000	0	487,000	
印刷代	90,000		90,000		90,000	
自動販売機手数料	396,000		396,000		396,000	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（広告ラック収入・預金利息）	1,000		1,000		1,000	
収入合計	42,502,000	0	42,502,000	0	42,502,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	21,927,000	0	21,927,000	0	21,927,000	
給与・賞金	20,167,000		20,167,000		20,167,000	館長・副館長・日給職員・時給職員19名
社会保険料	1,100,000		1,100,000		1,100,000	
通勤手当	500,000		500,000		500,000	常勤職員・日給職員・時給職員
健康診断費	40,000		40,000		40,000	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金	120,000		120,000		120,000	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	1,407,000	0	1,407,000	0	1,407,000	
旅費	5,000		5,000		5,000	出張旅費
消耗品費	500,000		500,000		500,000	事務消耗品費
会議賄い費	30,000		30,000		30,000	諸費を含む
印刷製本費	0		0		0	
通信費	170,000		170,000		170,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	82,000	0	82,000	0	82,000	
横浜市への支払分	82,000		82,000		82,000	目的外使用料等
その他			0		0	リース経費等
備品購入費	60,000		60,000		60,000	
図書購入費			0		0	二一ズ対応費より支出
施設賠償責任保険	19,000		19,000		19,000	
職員等研修費	6,000		6,000		6,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	175,000		175,000		175,000	
手数料	350,000		350,000		350,000	
地域協力費	0		0		0	地域イベントの協力費等
事業費	800,000	0	800,000	0	800,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	800,000		800,000		800,000	
自主事業費			0		0	イベントの実施
管理費	14,272,000	0	14,272,000	0	14,272,000	
光熱水費	8,960,000	0	8,960,000	0	8,960,000	
電気料金	4,600,000		4,600,000		4,600,000	
ガス料金	2,100,000		2,100,000		2,100,000	
水道料金	2,260,000		2,260,000		2,260,000	
清掃費	2,020,000		2,020,000		2,020,000	日常・定期清掃費
修繕費	250,000		250,000		250,000	
機械整備費	250,000		250,000		250,000	
設備保全費	2,792,000	0	2,792,000	0	2,792,000	
空調衛生設備保守	1,068,000		1,068,000		1,068,000	
消防設備保守	150,000		150,000		150,000	
電気設備保守	1,260,000		1,260,000		1,260,000	
害虫駆除清掃保守	34,000		34,000		34,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	280,000		280,000		280,000	ピアノ、音響、コピー機保守費
共益費			0		0	
公租公課	1,446,000	0	1,446,000	0	1,446,000	
事業所税			0		0	
消費税	1,446,000		1,446,000		1,446,000	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	1,515,000	0	1,515,000	0	1,515,000	
本部分	1,515,000		1,515,000		1,515,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費	1,135,000	0	1,135,000	0	1,135,000	
支出合計	42,502,000	0	42,502,000	0	42,502,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

令和4年度 矢向地区センター 自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	<p>事業計画書</p> <p>(2)イ 地域特性、地域ニーズ</p> <p>利用者の声を真摯に受け止め、日々の施設利用の対応や自主事業の運営に反映させることが重要と考えています。特に「矢向防災フェア」は秋と春の2回開催し地域住民の方の防災意識の向上、地区連合町内会の役員と地区センター職員の防災訓練に努めてまいります。</p> <p>子育て世代の事業はニーズが高くわっくんひろばとの協働事業を年4回以上計画して子育て世代を支援します。</p> <p>コロナ禍以降「家族」「友人」などの少人数で体育室や会議室を利用される団体が増加しており新たな団体を増やしていきます。</p> <p>南武線広報の尻手駅職員の方と南武線 PR のためのイベントを企画中です。地区センターは地域住民の交流施設として機能していますが、アピールする場所を求めている方(企業など)に地区センターの認識が無くマッチングできていないケースがありそうです。今後は地区センター自体のPRにも努めていきたいと思っています。</p>			
	<p>ウ 公の施設としての管理</p> <p>公の施設として矢向地区センターは横浜市地区センター条例等に基づき、人権を尊重し、利用者目線、公平・公正な利用ルールとします。また、安全・安心なご利用ができるように、施設・設備の維持管理を行います。コロナウィルス感染対策を行いながら地域の方々の活動拠点としての役割を果たしていきます。</p>			
	<p>(4)エ 利用者ニーズの把握と運営への反映</p> <p>年に2回開催される「利用者の集い」と「利用者アンケート」の結果は掲示して皆様に報告しています。利用者からお聞きしたご</p>			

	<p>意見はスタッフノートや連絡ノートに記載して全職員が共有できるようにしています。また、町内会の会合や地域団体と会合を重ね、地域のニーズ把握に努めています。図書コーナーには「図書リクエスト BOX」を設置して購入の目安としています。体育室の個人利用はスポンジテニスの利用が優先的に設定されていますが最近はバドミントンのニーズが高いためバドミントンがメインのカレンダーを設定します。</p>			
	<p>オ 利用者サービス向上の取組 新刊図書とリニューアル図書の購入は継続して行います。「こどもの本総選挙」の参加と上位 10 冊の配架は継続して実施します。</p>			
業務運営	<p>事業計画書 (4) ア 設置理念を実現する運営内容 横浜市の地区センターは、地域住民が自主的に活動し相互の交流を深める場として設置されました。これからも利用者ニーズと地域ニーズを常に把握しながら運営協議会でのご意見を踏まえて、地域コミュニティの醸成、地域の連携に貢献します。</p>			
	<p>イ 利用促進策 「月曜体操」や「中高生の自習室」を継続的に開催することで少人数でも累計利用者の増加に繋がる企画を実施します。</p>			
	<p>キ 横浜市重要施策に対する取組 横浜市の芸術アクション事業は「音祭り」が予定されているため、サルビアホールとコーラス等での協働事業を予定しています。</p>			
	<p>(5) 自主事業計画 地域に密着した地区センターを目指して世代やジャンルによるニーズを吟味しながら、地域住民が参加しやすい自主事業を企画・運営します。「こども英語であそぼ」や「科学教室」など好評な事業は継続し、話題のカルチャーを取り入れた教室などを新規に開催していきます。 コロナ禍により『徹底した除菌と検温』『参加人数の制限』は続きそうですが、今後も各カテゴリーをカバーした自主事業による交流を持続していきます。</p>			
	<p>(6) 施設の維持管理計画 安全・快適な環境維持及び施設長寿命化の見地から、市役所と連携強化・情報共有を図りながら計画的かつ効果的な保全・更新を</p>			

	進めます。また、小破修繕についても、協会及び施設として引き続き積極的に対応します。			
職員育成	<p>事業計画書</p> <p>(3)イ 個人情報保護等の体制・職員研修計画</p> <p>「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守するよう職員研修を実施します。個人情報の収集は必要最小限とし、適切な管理、目的外利用の禁止など指導を徹底します。コロナ対応の過程で個人情報を取得する機会も多いため、厳正な管理を心がけます。</p>			
財務	<p>事業計画書</p> <p>(7)ア 収入計画の考え方について</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルスによる影響がないものとして、稼働率49%、利用料金収入3,405千円を目標とします。</p>			
	<p>イ 増収策について</p> <p>新型コロナウイルスの状況が落ち着けば「使ってみよう地区センター」キャンペーンを開催し、新たな利用者を開拓します。</p>			
	<p>ウ 支出計画の考え方について</p> <p>予算書に基づき計画的に支出します。10万円以上の契約では複数業者から見積書を徴収します。</p>			
	<p>(4)カ ニーズ対応費の用途</p> <p>新型コロナウイルス感染症に係る対応に換気と除菌を両立できるクリーナーと扇風機の購入を予定しています。</p> <p>ダンスサークルの支援に購入したマグネットミラーが太極拳や体操系のサークルにも好評なため増設を予定しています。</p>			
その他 (上記4つの視点以外の項目があれば追記)	<p>事業計画書</p> <p>(8)新型コロナウイルス感染症に係る対応</p> <p>新型コロナウイルス感染症は早期に終息することはないと考えています。その中で ウィズコロナの地区センターとは何かを模索していく必要があります。今までの「人数の多い団体を歓迎する」志向から「少人数も歓迎する」「新たな利用方法を開拓する」という考え方にシフトする必要があります。十分な感染対策を施しコロナ禍でも安心してご利用いただける管理運営を行います。</p>			

利用者等の意見				
---------	--	--	--	--

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載